



Amir Tsarfati

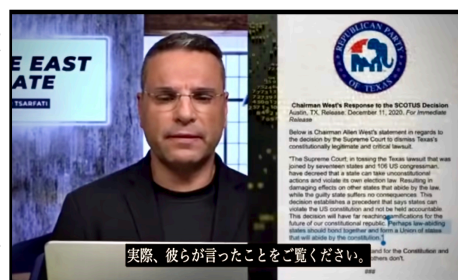
2020年12月12日 中東時事アップデート

-中東における、グローバリスト 対 ナショナリストについて-

[アミール] おかえりなさい。Facebookが、私達を追い出しました。Facebookが、この動画をページから削除したので、最初からやり直します。繰り返しますが、これが私の直面しているものです。選挙の数週間前からお伝えしていましたが、Facebookは、我々のページを、彼らのルールに違反しているとマークしていて、そして、彼らは我々を完全にブロックしました。その為、選挙前には、月に1200万人に届いていたのが、今や、彼らがBeholdIsraelをブロックしていて、100万人以下に減りました。しかし、私達には、他にもたくさん手段があります。つい先ほどご覧になった通り、新しいテレビ番組を、TV7イスラエルニュースで、ジョナサン・ヘッセンと一緒に、明日から始めます。ぜひご覧ください。

皆さん、多くのことが起こりました。中東で、アメリカで、ヨーロッパ、そしてもちろん、世界中の他の地域でも。今日のテーマは、「中東における、グローバリズム対国家主義」なぜ私がこの話をするのかと、きっと、疑問に思ってるおられでしょう。しかし、私がこの話をしているのは、聖書だけでなく、私達が今、目にしている事のためです。特にアメリカで。ですから、はっきりさせておきましょう。今、アメリカは、アメリカを破壊しようとする、二つの勢力の間に立っています。間違っははいけません。これらは正反対の勢力で、どちらも、アメリカを破壊するという、同じ共通の目標を持っています。一方は、ある方法で内側から破壊を狙い、もう一方は、別の方法で内側からの破壊を狙っていますが同じイデオロギーではありません。唯一、共通しているのは、アメリカの破壊、少なくとも、現在のアメリカの破壊を望んでいる点です。一方の側は、もちろん、ご存知のグローバリストです。ジョージ・ソロスや、ロスチャイルド家、ロックフェラー家、その他多くの巨人が、メディアを支配し、彼らはウォール街を支配し、ビッグテックを支配し、ヨーロッパ各地の、他の多くの財団、学術団体、大学を支配し、彼らは、芸能界の一部です。私達全員が、それを知っています。しかし、数週間前だったと思いますが、選挙の前に、ハンター・バイデンの話で、アメリカは目を覚ました。中国が、バイデン家と取引するための賄賂に非常に深く関わっていることを、我々は理解しています。もし、それだけでは不十分なら、議会情報委員会のメンバーが、実際に中国のスパイと共謀していた事が、分かりました。また、それでも足りなければ、ジョージア州のケンブ知事のような、名ばかりの共和党員も、ビジネスや資金の面で、中国政府と深く関わっていることが分かりました。ですから、皆さん、中国は...ちなみに、中国はそれを隠しもしません。中国は、アメリカを超大国の座から取り除き、取って代わろうとしていることを、認めています。ですから、一方に、中国があって、中国は、グローバリズムには興味がりません。間違っははいけません。中国は、グローバリズムには、全く興味がありません。彼らは、中国が支配する事を望み、一族の集団が、全世界を支配する事は、望んでいません。ですから、一方ではグローバリストがいて、他方では中国人がいて、アメリカを完全に破壊しようとしている双方に、唯一、トランプ大統領だけが、立ちただかっているのです。これが、今の状況です。

現在、アメリカは完全なる内部破壊寸前です。実際、24時間ほど前の、最高裁による、テキサス州の訴訟棄却に対する共和党の反応は、非常に興味深いものがありました。実際、彼らが言ったことをご覧ください。実際、彼らは言いました。「法を守る州は結束して、憲法を守る州の連合体を形成すべきかもしれない」言い換えると、「今のアメリカは、本来あるべき姿ではないのかも知れない。その連合から撤退して、米国憲法を守る別の連合を作るべきなのか



も知れない。なぜなら、明らかに、憲法が支持されておらず、真剣に受け止められる事もなく、踏みにじられている。」ですから…これは、内部崩壊のように見えます。そこで皆さん、トランプ大統領は最高裁で、負けたわけではありません。そもそも、テキサス州の訴訟は、どこからともなく出てきて、消えて行き、これは、弁護団が計画していた、勝利への道筋の、一部ではありませんでした。そうではありません。勝利への道は、現在、ペンシルバニア、ジョージア、ミシガン、アリゾナ、ウィスコンシンで行われている訴訟です。つまり、何も変わっていません。唯一変わったのは、テキサスと、ほかの18州すべてが一致連帯してやって来たのが、基本的には、9人の裁判官のうち、7人によって却下されたということです。トーマス判事と、アリト判事は、実際に話を聞こうとしていましたが、驚くべきことに、トランプ大統領自身が任命した3人の保守派の判事が、いずれも、向こうの非常にリベラルな判事の味方をしたのです。ですから、ここでの問題は、アメリカの最高裁です。不正選挙のことは、忘れてください。今は、最高裁判所に問題があります。あとは、他の訴えがどうなるかです。ところで、先ほども言いましたが、このテキサスの主張は、最終的に勝利を得るための、本来の道筋には含まれていません。あっという間に登場して、すぐに消えました。しかし、米国最高裁が抱える、大きな問題が露呈しました。

さて、皆さん、別のこともお話ししましょう。トランプ大統領は、一秒たりとも止まらず、アメリカ国民のために、一生懸命働いています。ところで、トランプ大統領が仲介している中東の和平合意の話をお聞きした際に、間違っただけではありません。恐らく、イスラエルや、アラブの国にとってもこれは、良い事です。しかし、トランプ大統領は、非常に明確にしています。彼は、ここでビジネスをしたいのです。これはビジネス上の取引で、だからこそ議会は、モロッコとの10億ドルの武器取引の通知を、トランプ大統領の政権から受けたのです。またしても、2日前、モロッコ王国とイスラエルの間で新たな和平協定が発表されました。良いですか、イスラエルとモロッコは長い間「非公式の」関係が続けています。しかし、モロッコは、イスラエルを主権国家と認めたことはなく、イスラエルに、大使を置いたこともなく、イスラエルと、正式な関係を結んだこともありません。そこへトランプ大統領が、文字通り、土地を平和と引き換えにしたのです。しかし、イスラエルの土地ではありません。歴史上のすべての大統領は、我々を利用して、平和と引き換えに、私達の土地を手放す事を強いて来ました。トランプ大統領は、こう言います。「いやいやいや、モロッコ。イスラエルとの和平を望むならあなた方が要求する領土はどこですか？西サハラ？」あそこは、1963年からずっと、国連の非自治領です。実際には、スペインが解放したのです。スペインが、長い間あそこを植民地化し、そしてスペインは、1975年、モロッコに解放しました。誰も、それを法律上は認識せず、事実上のみです。つまり、承認の書類はありませんが、モロッコはそれを望んでいます。「よし、アメリカが、西サハラをモロッコの領土として認めよう。何も問題ない。しかし、その見返りとして、2つのことを求めます。イスラエルとの和平に署名をし、そして我々から武器を購入してください。そうすれば、アメリカ国民は職を得ますから。彼らは仕事をして、戦闘機や無人航空機を作り、船やミサイル、ボートや飛行機、モロッコが必要とするものは何でも作ります。我々から買ってください。どちらにしても購入するのだから、ロシアや、フランスや、イギリスから買わず、アメリカから買ってください。」トランプ大統領は、アラブ首長国連邦・UAEにしたのと同じように、「あなた方が、イスラエルとの和平を望むなら素晴らしい！しかし、我々は、あなた方に、F-35を販売します。そうすれば、ロッキード・マーチンや他の人たちはアメリカでも雇用を得られますから。」そういうことです。「あなたがたの利益が、私の利益と、第三者の利益と一致しなければ一緒にビジネスをすることはできない。」これは、非常に驚くべきことです。

さて、皆さん、我々は歴史的な平和を手に入れました。ちなみに、別の国が今日、唐突に、イスラエルとの和平に調印しました。恐らく皆さんは、その国のことを、聞いたこともないでしょう。ブータンという国が、イスラエルと和平を結んでいる、と私が言っても、多分皆さんは、その国がどこにあるかも、ご存知ないでしょう？ご覧ください。ブータンは中央にあります。あの青い湖の真上、ヒマラヤ高原の真下をご覧ください。ブータンは基本的に、北は中国、南はインド、左はバングラデシュに挟まれています。人口100万人未満、80万人以下の小さな国ですが、今日、イスラエルと和平に調印し、大使を交換することになりました。気になる方は、これがブータン



の国旗です。ブータンは圧倒的に、仏教国家です。国民の約75%は仏教徒で、残りは、ほとんどがヒンドゥー教徒です。ブータンは、ヒマラヤ地域の一部で、南アジアでは、東ヒマラヤと見なされています。繰り返しますが、皆さん、ものすごい1週間が待ち受けています。

モロッコについて、お伝えしますと、これは、多かれ少なかれ…これを、ご覧ください。モロッコは、アフリカの最西部に位置していて、アルマグレブと呼ばれています。「西」です。そして、濃い緑がモロッコ、薄い緑が論争的になっている西サハラです。ランプ大統領は、2日前、その場所に対するモロッコの主権を承認しました。さて、誰にも認められていない政治的実体があって、その政治的実体が、その土地も望み、また、彼らは、西サハラの約25%



を支配しています。西サハラの東部は、彼らによって支配されています。しかし、繰り返しますが、モロッコは現在、西サハラの本当の所有者として、承認されています。すごいことです。イスラエルとモロッコ間の直行便が来週開始される予定です。モロッコは、医療支援、諜報、セキュリティ、サイバーセキュリティなど様々な面で、イスラエルの技術導入を期待しています。中東の変化の様子には、かなり驚きです。

さて、間違っははいけません。2日前にも言いましたが、今、私達が見ている、イスラエルとアラブ・イスラム諸国との間の平和は、反キリストの台頭とは、何の関係もありません。なぜでしょう？なぜなら、これらの和平協定は、どれも、エルサレムをイスラエルに返還し、神殿の丘に神殿を建てさせる事とは、全く関係ありませんから。実際、どちらかと言えば、これらの和平取引はイスラム教徒に対して、言っているのです。「世界で3番目に神聖な場所に、参拝出来ますよ。ぜひ、どうぞ。」だから基本的に、私達が見ているのは、戦争の前の平和、エゼキエル戦争前の平和です。マゴグの地のゴグに攻撃される前に、イスラエルは、安全、安心で、繁栄していなければなりません。ロシュ、メシェク、トバル、ペルシャ、プテ、クシュ、これら5か国すべてと、トルコ、ゴメルとペテ・トガルマ、ペルシャはイラン、リビア、スーダン。これらはすべて、将来的に起こります。その戦争は、やがて反キリストが、平和をもたらず大戦争で、これはまた別の話です。その時、私達はどこにはいません。信者である私達は、エルサレムの神殿の丘がイスラエルの手に戻り、神殿が建つものを見ることはありません。ユダヤ人が「この人がメシヤだ」と思って、自分をカミだと宣言するような大きな欺瞞を、我々は、見ることはありません。そのすべては、イスラエルのために、イスラエルで起こることで、信者が、地上で経験することの一部ではありません。ですから覚えていてください。私達は、重要かつ聖書的な事を目にしていきます。しかし、それはあなたが思っているようなことではありません。これは、私達が恐れるべき平和ではありません。私達は、ここに居て、ダニエルが9章で描写している平和を見る事はありません。反キリストが、イスラエルと契約を結び、最終的には、途中でいけにえの儀式をやめさせますが、いけにえの儀式を止めるには、まず、儀式を再開させなければなりません。それを再開するには、神殿がなければ出来ません。ですから、理解してください。ダニエルの最後の週の全体は、エルサレムに、神殿を建てさせる平和がある時です。そしてもちろん、その中間で、その神殿は、反キリストの家と宣言されます。だから、そのすべては私達のためではなく、この平和には、それは含まれていません。

皆さん、次のことを理解しておいてください。これは超重要です。聖書の預言は、ほとんどが中東、特にイスラエルに関するものです。もちろん、中国が、アメリカを破壊しようとしていることについても話しました。そして、グローバリストが、世界システムを準備しようとしていることについて、話しました。おもにヨーロッパで、最終的に、そこから反キリストが台頭します。世界的な大問題が、今、アメリカに影響を与えています。しかし、忘れないでください。最終的には、イスラエルに集合します。まさにそれが、ダニエル書11章、イザヤ書49章に書かれていることで、実際、黙示録16章にも書かれています。勘違いしないでください。皆さん、東の王たち、アジアの王たち、おもに中国、アジアの国々が、すべて来て、反キリストに敵対するのです。中国と、グローバリストは別物です。今は、どちらもアメリカの破滅を望んでいて、両方共が、イスラエルの地に集まって衝突し、そして、最終的には主の再臨時に、メシヤと戦います。

しかし、一つ覚えておいてほしいのは、今こうして話している間にも、アメリカは、その両方に、立ちほだかっているのです。中国は世界を乗っ取りたい、グローバリストは世界を乗っ取りたい、そして、どちらも人々に資金を提供し、どちらも賄賂を贈っています。つまり、一方は政治家に賄賂を贈り、もう一方はブラック・ライヴズ・マターやアンティファなどの運動に、賄賂を贈っています。しかし、最終的にどちらも、アメリカに関しては、同じ目標を持っています。アメリカは、中国が世界の超大国になろうとし、グローバリストが、最終的になろうとしている事に、立ちほだかっているのです。だから、今、トランプ大統領が直面している闘争を理解する必要がありますが、その闘争は、皆さんが想像し得るよりもはるかに、はるかに大きく、はるかに厳しく、ずっと重要なものです。彼には、まだ、ペンシルベニア、ジョージア、ミシガン、アリゾナ、ウィスコンシンで、戦うべき訴訟があります。米国最高裁判所は、どうやら憲法に関しては、我々が期待していたものとは違うようです。アメリカが、内部から分離していくのを見ることになるかもしれません。つまり、これから起こることを容認しない州は、連合を脱退して何かを始めるかもしれません。何が起こるか分かりませんが、一つだけ分かっているのは、今、トランプ大統領が直面しているこの戦いは、現時点では、同じ目標を持つ、2つの異なる方向からの戦いです。しかし今の時点で、彼らの同じ目標は、現在のアメリカを排除する事で、そして、それぞれがアメリカを乗っ取ることを望んでいます。

グローバリストは、一つのことを望み…ご覧ください、これは興味深いです。なぜ、これが興味深いのか？お聞きください。バイデン一家は、中国に買収されたようです。そしてカマラ・ハリスは、グローバリストの主力のようです。ですから、内部でさえ… あろうことか、トランプが当選せず、仮にバイデン政権が成立したとしても、その内部でさえ、衝突しているのです。そして、その衝突は続くでしょう。なぜなら、反キリストが、やがてヨーロッパから台頭してくるとき、私は、西ヨーロッパだと思っていますが、その時、アジアの一部、つまり中国は従いません。確かに、世界中の人々は、彼を崇拜します。しかし国として、大国としての中国、少なくとも東洋の王たちは、それを認めず、少なくとも、それに服従する事はありません。ですから、私達が話しているのは、イスラエルが盲目にされ、ヨーロッパが盲目にされ、アメリカも、もちろん盲目にされ、大きな図の話です。人々は、世界中で盲目にされるかもしれませんが、反キリストのグローバリスト政権にあっても、アジアの抵抗勢力があるのです。間違っははいけません。今、私達が見ているのは、ただ、この両者の、主戦の準備と言ってもいいでしょう。そして、トランプ大統領が、彼らの道に立ちほだかっています。

さて、中東はどうでしょうか？中東は、グローバリズムの影響を受ける可能性があるか？間違いなく、今、グローバリズムは、アメリカを破壊し、ヨーロッパでの地位を再確立し、そこから、最終的に支配しようとしています。しかし、反キリストは、彼が中東に平和をもたらす前に台頭する事は出来ません。そして、台頭して、最終的にはエルサレムから支配し、それから、獣のしるしを受けないユダヤ人を追いかけて、捕まえるのです。だから明らかに、グローバリズムは中東で、少なくともイスラエルでは、何らかの実を結びます。しかし、そのすべてに同意しない、残りの者が出て来ます。ちなみに、先ほど申し上げたように、アジアでも同じことが言えます。そして、グローバリズムは、中東全般で苦勞していると思います。中東の国々は… 皆さん理解してください。中東は、大変な部族社会です。広大な土地を支配することに成功した、大帝国があり、彼らは、地元の部族との取引や同盟を結ぶことによってなんとか操作することができました。そこへ第一次世界大戦が起こり、トルコのオスマン帝国は解散して、大英帝国は、崩壊し始め、フランス帝国も同じ、スペイン帝国も同じでした。世界が、どのように変化しているのかが分かるでしょう。特に第二次世界大戦後、アメリカがトップに参入し、今や、国連が設立されました。そして国連は、一方で、各国が独立して、植民地化されないように対処していますが、同時に、グローバリズムを推進しています。

さて、これをご覧ください。中東では帝国があつて、その後、世界大戦が起こりました。第一次世界大戦後、イギリスとフランスは、サイクス・ピコ協定に署名し、彼らの間で、オスマン帝国の残りを切り分けました。しかし、繰り返しますが、彼らは、中東の部族社会を、完全に無視したのです。こんにち、私達が目にしているのは、オバマ大統領、バラク・フセイン・オバマが、いわゆる「アラブの春」を中東にもたらした後、彼が中東にもたらしたのは、より多くの苦しみ、痛み、死、殺害、避難…人々が、故郷から根絶やしにされたのです。全てが、彼の時代に起こりました。思い出してください。なぜ彼は、大統領になって2、

3ヶ月やそこらで、ノーベル平和賞を受賞したのか、よく分かりません。彼は、戦争と痛み、苦しみ、死と殺戮しかもたらしていないのに。それに対してトランプ大統領は、すでに中東で5件の和平協定とバルカン地域で、1件の和平協定を仲介しています。しかし、彼に何かを与えようと、走り回る人はほとんどいません。皆さんに知っておいていただきたいのは、今、私達が見ているのは、中東での部族問題の復活です。この人たちは、グローバリストの“アジェンダ”の一部になることを望んでいません。一方で、中東は、世界との取引を望んでいますが、他方で、中東は、その全てに参加する気はないのです。ですから、グローバリストのアジェンダは、私達を取り囲み、その力や強さ、全てを發揮して、中東を支配しますが、中東は抵抗するでしょう。中東は抵抗し、ご存じのとおり、アジアも抵抗するでしょう。彼らにとっては、バラ色の生活になりません。我々は、この全てに対処する時、非常に慎重にしなければなりません。なぜなら…理解しなければなりません。今、文明の衝突が起きているのです。文明の衝突です。一方では、国家主義（ナショナリズム）。一方では、グローバリズム。グローバリズムが乗っ取ろうとしているから、国家主義が衰退しているわけではありません。グローバリズムは、何を使って乗っ取ろうとしているのでしょうか？多くの混沌と暴力によって、です。平和的ではありません。

さて興味深いことに、彼らは、メディアやソーシャルメディアを通じて、皆さんの心を操作しようとしています。その為、オーストラリアで、世論調査が発表されましたが、その調査では、オーストラリア人の大多数が世界共通の（ユニバーサル）ベーシックインカムを歓迎すると、言っています。つまり、ベーシックインカムが得られれば、世界統一経済でも構わない、ということです。ちなみに、その調査は、グローバリストの主催です。彼らは、本当に必死になって、多くのことを達成する必要はないと、人の心を操作しようとしているのです。「一律賃金で満足することができ、幸せになれる。」と。ちなみに彼らが言っている一律賃金では、資産が残せません。でも彼らは、「それで幸せになれる」と主張しているのです。さて、人々に資産がない時は、他の誰かがそれを所有しています。そこで自問しなければなりません。では、誰がそれを所有しているのか？我々が働いたビジネスを、誰かが所有しているはずですから。我々が働いている企業を、誰かが所有していなければなりません。このように、金持ちは、より豊かになり、庶民は、もてあそばれ騙されます。「どうせ成功なんて出来ないのだし、成功しようと努力する事も、諦めたらどうだ？我々が、あなた方に給料を与えよう。あなた方は何も所有しないが、あなた方が幸せでいられるように、我々がしよう。必要なものは、すべてレンタルできます。あなたはそれを所有する必要はありません。ドローンで、それをお届けします。それはあなたの手元に届き、あなたはそれを手に入れ、そしてあなたは、幸せです。」皆さん、起業家精神を奨励し、自立を奨励し、物事を開始しようとする試みは、全て抑制されます。それを目撃していて驚きますが今、私達が見ることができている中東では、状況は異なります。資本主義国の資本主義大統領がもたらした、私達の周りにある平和は、人々にビジネスをしたい、繁栄したい、成功したいという気持ちを引き起こしています。それも、一方だけでなく、双方が成功しているのです。皆さん、サウジアラビアもまた、この和平協定への参加も検討しています。しかし、サウジは、時間がかかります。サウジは、スンニ派イスラム教の母で、さらに、年老いて、古い考えの王がいますから、慎重にしなければなりません。そして彼らが望んでいるのは…前回、ネオムで会議があったという情報を、我々が、何となく漏らした後サウジは、別のやり方を望んでいるのだと思います。

皆さん、言わせてください。色々な事が、至る所で起こっています。イランについて、少し話しましょう。民主党一派が誇りに思っていることの1つは、人権です。そして、彼らはジャマル・カショギを殺したとしてサウジを非難するでしょう。彼らは、パレスチナ人や、その他と一緒に、イスラエルに敵対して来るでしょう。しかし、イランに関して言えば、彼らは、イラン人の行動には問題がないようです。

今朝、この男、彼を見てください。この47歳の男性、ルーホラーザムはジャーナリストで、彼はかつてウェブサイトとテレグラム・チャンネルのAmadnewsを所有していました。彼は、イランの政権を強く批判した人です。彼は、かつてパリに住んでいて、イラクに誘き寄せられ、革命防衛隊に誘拐されました。そして、今朝…彼らが彼をイランに誘拐したのは、2019年でしたが、今朝、彼らは彼を絞首刑にし、殺しました。彼は死んだのです。彼が、何をしたのか？彼は、誰も殺していません



ん。彼は、何もしていません。彼はただ、政権を批判しただけ。彼らは、今朝、彼を絞首刑にした。民主党支持者らは、何も言いません。ところが、強姦犯や、殺人犯が、死刑囚監房にいれば、大騒ぎです。「ああ、



私達が、彼を守らなければならない！！ああ…！」しかし、誰も殺していないこの人は、誘拐され…ちなみにイランの革命防衛隊によって、です。そして、今朝、処刑されると…虫の音が聞こえます。ちなみに、これが初めてではありません。今日、他にも何が起こったのか知っていますか？この、イラン人のインスタグラム・スターを見てください。彼女の名前は、サハル・タバル。文字通り。彼女の本名は、Fateme Khishvandで、彼女もインスタグラムの

スターです。彼女は、アンジェリーナ・ジョリーに、できるだけ近づこうとして50回以上の整形手術を行いました。しかし、それが彼女の犯罪です。アンジェリーナ・ジョリーのようになりたいたった事。なんと彼女は、昨年、投獄され、そして、今日、彼女は実刑10年を宣告されました。今、皆さんが見たもののために。これが、イラン人が必死に保護している人権です。そして、なんと、民主党一派は、それに対して、全く問題ありません。これが、私達が扱っていることです、皆さん。繰り返しますが、非常に驚くべきことが起こっています。ほら、私達は、少なくともここにいる限り、楽観的であり続けるべきだと思います。聖書は、私達は諦めたり、落ち込んだりしてはならない、と言っています、そして私達は行動する時、私達の周りに見えるものからではなく、主から、力と喜びを頂く事が重要です。

さて、皆さんにお伝えしたいのは、私はいつも言っていますが、私達が、ゲームチェンジャーです。私達がここにいる限り、私達は聖霊を私達の中に持っています。これが、「引き止める者」です。今や、いたるところに、邪悪な霊がたくさんいて、様々なところからやって来ます。彼らは、支配、権力、お金、貪欲が全てです。一部は中国から、一部はグローバルリストで、そのすべてが来ていて、見ての通り、アメリカでの選挙は、文字通り、これら2つの要素によって、売られました。しかし、皆さんに言いたいのは、私達がここにいる限り、そして私達が御父の仕事をし、義のために祈る限り、そして私達が、聖書の原則を支持する限り、私達は、あきらめるべきではないと思います。考えてみてください。もし、政府や社会が、私達をどのように受け入れ、私達を認識するかが、すべてだったとしたら、パウロは、最初の宣教旅行に出たとき、すぐに諦めるべきでした。彼は、ユダヤ人に受け入れられず、彼は、異邦人にも受け入れられず、彼は、政府に受け入れられず、誰にも受け入れられませんでした。誰にも、です。そして、ご存知のとおり、コリントにいるとき、彼は寝て…彼は、コリントを離れたかったのです。彼はもう、そこにとどまることができませんでした。自分の兄弟たちと、町の他の人たちの、両方から攻撃されたのです。彼には耐えられませんでした。しかし、神は、彼に言われたのは、「ここにしばらく留まりなさい」というだけでなく、

「この町には、わたしの民がたくさんいるから。」（使徒の働き18:10）

神は、彼にそう言われたのです。皆さんを励ましたいのです。私達がここに居る理由は、第二ペテロ3章が、見事に告げています。私達が、まだここにいるのは、神が、まだ諦めておられないからです。

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」（第二ペテロ3:9）

私達が、今、経験していることを通して、私達が覚えておく必要があるのは、これらの選挙での戦いは、一個人のためではなく、思想に対する戦いであるということです。また、私達は、他方よりも、一方に関心を示しているのではなく、私達は、真実と義と正義に関心があるのです。それが、私達が関心を持っていることです。すべての本物の投票、すべての合法的投票を数えよう。「トランプが勝つように、もっと彼に票を追加しよう。」なんて、誰も言いません。「彼が権力を維持するよう、どんな手でも使おう！」なんて、言いません。絶対違います。もし、アメリカ人が、バイデンに投票したのならバイデンは、アメリカ合衆国の大統領になるべきです。とてもシンプルです。しかし、アメリカ人が投票した人物が、バイデンでは

ないなら、バイデンは、大統領になるべきではありません。非常に簡単です。もちろん、私達が望んでいるのは、あと4年、アメリカだけでなく、世界中のあらゆる分野の人生に対して行われて来た、素晴らしいことを見る事です。今、私達が見ているのは、イランや、ブラック・ライヴズ・マターの大胆さです。ちなみに、ヨーロッパでは、ブラック・ライヴズ・マターと、アンティファが、アメリカでしていることを見て、どんどん勇気づけられて、パリでは、毎週土曜日に、長い間見たことのないような警察との衝突が起きています。彼らは全て、アメリカのアンティファを模倣して、黒い服を着ています。イスラエルでさえ、グローバリスト、リベラルで狂った人々は皆、黒い旗を掲げています。これまでです。イスラエルは、これまでにないほど、安心、安全で繁栄していて、問題は、ネタニヤフが、グローバリストの“アジェンダ”を推し進めることを許可しない事です。それだけです。そして、その事に、彼らは発狂しているのです。文明の衝突があります。グローバリズムと、国家主義。中国があり、新世界秩序が推し進められ、“正義対闇”の霊的戦いがあります。驚くべき戦争、霊的な戦いが起こっているのです。そして、私達は、最終的に反キリストが興ると、その霊的戦いが激化することを、知っています。そして、彼がイスラエルに敵対すると、それで終わりです。それは、天における天使ガブリエルと竜との大きな戦いの結果です。そもそも、それは、霊的な戦いです。それについては、黙示録の12章で読むことができます。

皆さん、理解する必要があります。このすべての中で、聖書を読んで、何が起こっているのかを理解すれば、ところで、中国と、グローバリスト、反キリストとの戦いについて、お話ししました。つまり、これを見てください。黙示録16章です。

「第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。すると、水は、“日の出るほうから来る(東の)王たち”に道を備えるために、かれてしまった。また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。 彼らはしるしを行う悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。」(黙示録16:12-14)

つまり、元々は、離れていた、これらの王たちにも欺瞞が起こるのです。そして彼らは、はるばるハルマゲドンの谷まで誘い出され、エルサレムに行く準備をします。皆さん、それだけでは不十分なら、非常に興味深い事に、イザヤ49章で、はっきりと見るすることができます。これを見てください。

「見よ。ある者は遠くから来る。」見てください！「また、ある者は北から西から、また、ある者はシニムの地から来る。」(イザヤ49:12)」

ヘブライ語で“シニム”は、中国人です。“シン”は中国で、“シニム”は中国人、とても面白い。それで足りなければ、もちろん、ダニエル11章44節を見てください。

「しかし、東と北からの知らせが彼を脅かす。彼は、多くのものを絶滅しようとして、激しく怒って出て行く。」(ダニエル11:44)

ですから、彼、反キリストは脅かされます。誰もが、彼の権威に服従するわけではありません。つまり、今日、アメリカで見られる、世界を支配したいグローバリストと、中国の間のこの戦争は、結局のところ、非常に腐敗したアメリカの政治家達です。こっち、もしくは、あっちに買収されている。これは、アメリカを超えています。反キリストが、すでに興っていても、それは最終的には全世界の問題になるでしょう。これは、非常に興味深いことです。ちなみに、だからこそ、私は、アメリカで起こっていることが全世界に反映されていると、思っているのです。世界中で、多くの善良な人々が祈っています。彼らは皆、義と正義が勝つこと、真実が現れることを祈っています！欺瞞が非常に大きいからです。巨大です！選挙前の数週間、ハンター・バイデンの話を抑制し、それを、陰謀論、ロシアの陰謀論と呼んで説き伏せるとは、どういう事ですか？！ちなみに、バイデンに投票した人の半数は、ハンター・バイデンのノートパソコンや賄賂について、一度も聞いた事がないのです。ちなみに、彼らの多くが、もしそれを知っていたら、彼らは異なった投票を

していたと、証言しています。50州すべてが選挙結果を認定すると、唐突に、司法省は発表します。「進行中の調査があって、司法長官は、選挙前にそれについて知っていた。」ジョー・バイデンは、討論の最中に、人々に嘘をついたのです。人々は、真実を知りません。真実は、メディアとソーシャルメディアによって抑制されています。ちなみに、少なくとも何千という数の宣誓供述書に署名した恐ろしい不正選挙の目撃者の証言が、誰にも聞かれていないのです。誰も望んでいない...つまり、裁判所は、それを聞きたくないのです。皆さん、考えてみてください。アメリカ史上最大の犯罪の1つである、大きな犯罪が犯されているのに、彼らは、それを聞きたくない。「我々は、聞きたくない。」そしてもちろん、民主党一派は言います。

「ほら、あまりにも馬鹿げていて、誰も聞きたくない。」誰も、それを聞きたくないなら、それが、ばかっているかどうか、どうして分かるのですか？これまで、公聴会があったところは、どこでも、人々が、聞いたことに啞然としました。しかし、裁判所が、それを聞きたくない。だから、トランプが勝利する可能性のある別の道は、実際、法廷をあきらめて国会議員のところへ行き、「君たちは、とっくの昔に済ませているべき仕事をしなさい！」と言うことです。それから、皆さん、一つ言っておきますが、私は楽観主義者です。私は、私達の強さを知っています。私達の力は、主から来ることを、私は知っています。私達のうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも、力があるからです。(第一ヨハネ4:4参照)私達は、まだここにいますね？私達がここにいる限り…私達はあきらめるのか？それとも、私達は戦うのか？私は「政治的大義」のために戦っていません。今、巨大な力である、国家主義（ナショナリズム）とグローバリズムが衝突していることを、私は理解しています。しかし、グローバリズム側には、多くの悪があることも知っています。そして国家主義の側には…中国は国家主義の代表です。イラン、トルコ、ロシア…ロシア、イラン、トルコ、中国が、グローバリスト・アジェンダの一部になりたいと思いますか？いいえ！ですから、国家主義的な部分の下でさえ、非常に多くの悪があります。ですから、私達が自分自身を見つけることができる唯一の場所は、義と敬虔が宣言され、行われている場所です。だからこそ、私は、バイデンやハリスよりも、トランプを好むのです。私が、彼のキャラクターに惚れ込んでいるからではありません。彼は、私の救世主でもなく、私の贖い主でも、救い主でもありません。しかし、私は一つのことを知っています。反対側から来ている悪が、私達を破壊しようとしています。そして、なぜそのような闘争があるのかが、わかります。自由は、手に入れ難く、戦う価値のあるものです。アメリカ人は、最終的に…見てください。それは避けられません。アメリカは、世界の支配から降りるでしょう。聖書は、エゼキエルの時、アメリカについて語りもしてませんから。しかし、私が言ったことを覚えておいてください。その時まで、私達は福音を広め、義のために戦うべきです。私達は、支持しなければなりません。ほら、アメリカ憲法は、大部分が信者によって書かれました。なぜ、250年の後…とにかく、なぜ今、それを破壊するのですか？何のために？そして、今、それを破壊するならば、おそらく、アメリカ合衆国と呼ばれることを、望まないでしょう。憲法は、それが全てですから。ですから、皆さん、私達は今、世界で最も重要な国の1つを、現在は、世界で最も重要ではないにしても、2つの力によって、破壊しようとする試みを見ています。私達、世界中の信者は、その間に捕らえられています。しかし、私達の強みは、聖霊が私達の内におられるという事実です。それが、私達の力です。これが、私達の秘密兵器です。私達は、絶望せず、あきらめることもありません。私達は、勇敢に戦い、私達は競争を走り抜き、私達は信仰を保たなければなりません。この現代において、信者がどのように生きるべきかについて聖書のすべての記述は、すべてが素敵で、すべてが簡単、すべてが素晴らしいものではありません。すべてが戦争、霊的戦い、競争、格闘、葛藤の描写です。イエスは、私達に、こんな約束はされていません。「この世は、バラの庭がある。だから気楽にやりなさい。わたしは、すぐにここに戻って来る。」いいえ、彼が言われたのは、

「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」(ヨハネ16:33)

これは、とても重要です。ですから、私達がアメリカで選挙のために戦うとき、私達は、口トの妻のように、これらすべてのナンセンスを振り返るではありません。私達は真実、正義、敬虔さ、義のために戦っているのです。私達が戦っているのは…なぜなら、もう一つの選択肢は何ですか？悪に同意すること？嘘と欺瞞に基づいているため、それを乗っ取るのですか？いいえ！私に一つ言えるのは、今、アメリカで起こっていることは、最終的に、全世界が経験することの反映です。そして、私達がここにいる限り、私達は戦う

のです。あなたに戦うつもりがないなら、邪魔にならないように、移動してください。戦士が戦えるように。皆さんに、一つ言えるのは、私は楽観的です。私はそうです。それが私です。ほら、私達は、ここにいる間、ここで善のために戦って、それから連れて行かれて、すべてがここで悪化する間、あちらに居るので。しかし、私達がここにいる限り…ところで、「バイデンが勝ったほうが良いんだ！ 携挙が早まるから」と言う人がいますが、それは愚かです。それは馬鹿げています。聖書には、定められた時があります。定められた時、神の定められた時です。神は、あちらに座って、「ああ、バイデンが勝ったんだな。じゃあ、携挙計画を急ごう。」なんて言いません。いいえ！「ああ、トランプが勝ったの？ じゃあ、あと4年待とう。」とか？それは、神のやり方ではありません。そんな風に考える人がいるとは！定められた時に、マリアは、イエスを産みました。定められた時に。すべての歴史の中で、日があり、月があり、年があり、主が生まれるべき、期間があったのです。ローマ人が、今では異なっていて…状況が変わって…今の方が彼も楽だろう… というようなものではありません。いいえ。定められた時、です。つまり、トランプがまだここにいるなら、それは、神が、彼がここにいることを許しておられるということで、素晴らしいことが行われることを、意味します。しかし、そうでなければ、それは神の定められた時であり、私達は、それを覚えておかなければなりません。私達は、それを忘れてはいけません。

さて、ご存知ない方のため、私のメッセージはすべて、印刷可能なPDFを、私達のWebサイトから無料で入手できます。<https://shop.beholdisrael.org>より、“Amir’s Teachings”に行き、”Printable DVD Teachings”です。ぜひ、入手してください。明日は、TV7 YouTubeを、ご覧ください。後ほど、チャンネルでも共有します。「タイム・オブザ・オーバー」の最初の章をご覧ください。もう一度、ご覧いただきましょう。TV7「タイムズ・オブザ・オーバー」アミール・ツアルファティ&ジョナサン・ヘッセン。ありがとうございます。これをシェアしてください。Twitter、Instagram、Facebook、YouTubeでフォローしてください。「BeholdIsrael」です。これを、できるだけ多くの人とシェアしてください。



主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。（民数記6:24～26 ヘブライ語）

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。（民数記6:24～26 英語）

平和の主、平和の君からのみ得られる、主の平和、あらゆる理解を超えた平和を、今より永遠に、ここでも、どこでも、あなたに与えられますように。彼の御名はイエシュア、私達の救い。主の御名によって、主の栄光のためにお祈りします。アーメン。

シャローム！

ありがとうございます。神の祝福がありますように。

さようなら。



← スマートフォンなどのカメラで読み込むと、YouTubeのメッセージが見れます。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>